

S A K U
C I T Y

20th

A N N I V E R S A R Y

2005 - 2024

花さく 夢さく 未来さく

新佐久市誕生20周年記念誌



2005 - 2024

新佐久市 誕生 20周年

佐久市は、平成17年4月1日の誕生から、20周年を迎えます。
この間、市民の皆様をはじめ多くの皆様のご尽力により、発展を遂げてまいりました。
この節目の時を、これまでの歩みを振り返るとともに、
次の10年・20年先を見据えていく機会とします。

CONTENTS

- 04 市長挨拶
新佐久市誕生20周年を迎えて
- 06 SAKU♥SUKI
20年分のSAKU♥を集めました
- 08 20周年記念事業紹介
記念イベントがもりだくさん！
- 12 佐久市20周年 年表
佐久市の軌跡
- 16 佐久市の人・文化・名産・名所
これまでに培われた佐久市の「宝」
- 20 次の20年に向けて

新佐久市誕生20周年記念事業



花さく 夢さく 未来さく

【ロゴマーク】

豊かな土壌や千曲川の恵みを受ける稲穂、宝石箱のような星空に伸びるコスモタワー、季節を感じさせるバルーンやコスモス、佐久の象徴である鯉、平和な暮らしを静かに見守る浅間山など、佐久の豊かな風景をまとめています。

【キャッチフレーズ】

華やかな未来へ進み、発展する佐久市を表現しています。

新佐久市誕生20周年を迎えて



平成17年4月1日に、佐久市、白田町、浅科村、望月町の合併により誕生した新佐久市は、令和7年4月1日に20周年を迎えます。

これまでの20年間において、社会基盤や生活基盤の整備など市域全体を通じた「均衡ある発展」と、各地域の地勢や強みを生かした事業展開などによる「特徴ある発展」の双方により、「暮らしやすさ」を実感できるまちづくりを進めてまいりました。

今後も、培ってきた豊かな自然・文化と都市機能が調和した快適な生活環境や、地域が一体となって支える市民の皆様の健康づくりといった強みを更に伸長し、心身ともに健やかに暮らせる「快適健康都市」を目指して、前進し続けてまいります。

この20年の節目に当たり、令和6年10月1日から令和7年9月30日までの1年間を記念事業の実施期間とし、20年間で築きあげてきた有形無形の財産を皆様と振り返るとともに、佐久市の魅力を再認識し、発信する事業を展開しております。

この機会に、佐久市の「これまで」に培われた魅力と「これから」の可能性を感じてください。

佐久市長

柳田清二



佐久市の市章

佐久の頭文字である「さ」をモチーフに鳥がはばたく姿を図案化したもので、豊かな未来を創造する佐久市のさらなる飛躍を表現しています。

市民一人ひとりが輝き、魅力ある力強いまちづくりへの願いが込められています。



佐久市民憲章

- 豊かな自然を大切に、清らかで環境にやさしいまちをつくります。
- 歴史と伝統に親しみ、教養を深め、文化の薫り高いまちをつくります。
- 働くことに誇りと喜びを持ち、産業の発展する活力あるまちをつくります。
- 心身ともに健康で、互いの命を尊重し合い、安心して暮らせるまちをつくります。

佐久市のシンボル



市の木 からまつ



市の花 コスモス



市の魚 佐久鯉



#佐久が好き

白田宇宙観測所に初めて行ったのですが、60m以上ある特大パラボラアンテナでビックリ!! 佐久に来たらおすすめの観光スポットです。無料展示室もあります♡

移住して1ヶ月。感じたのは...
とにかく人が親切!
佐久が大好きになりました。

#佐久が好き #やっぱりなかごみが好き
#nakagomi #りあとエンジェルズ #芝生

この子達はやっぱりここが大好きです!



季節によって変わる、広々とした田園風景が好きです♡夕方の時間はミレーの絵みたいな雰囲気♡

#佐久市 #佐久が好き

気候が落ちついてるころ。
晴れた青空にバルーンがよく合う♡



子供が住みやすいところが好き!

#佐久が好き

佐久の地味な離れ荘で、佐久の素晴らしい景色と気候に感動。
空気が澄んでいていい。佐久の人の温かさ。
常に健気に歩いて、この町はイベント盛り上げている。舞物も好評。
手は自慢の故郷で、
友人は佐久の町に来てくれたらいいよ。あめいませ。
これから、大好きな故郷佐久を、佐久にしたいと、思い出す。

あなたの見つけた
佐久の「いいね」
大募集キャンペーン!



20年分の SAKU♥SUKI を集めました

皆さんの投稿により、佐久市の魅力を詰め込んだみんなの「SAKU♥SUKI」「#佐久が好き」を集めました。佐久市の自然・食べ物・人…、共感できる「好き」、新発見の「好き」がどこかには必ずあります。

新佐久市誕生20周年おめでとう🎉 直径64mパラボラアンテナの白田宇宙空間観測所と直径54mパラボラアンテナの美笹深宇宙探査用地上局があり、深宇宙と地球を繋いでくれている佐久が好きです (写真は2023年度特別公開日に遊びに来た我が家のモルカーたちです😊)

#佐久が好き #長野県は宇宙県



生まれも育ちも佐久市。一旦離れて、帰ってきたけど。子育てしやすいし、生活しやすいし、子供の頃は東京に憧れていたけど、佐久市に帰ってきて本当に良かった♡ 生まれ故郷にもっと恩返しをしたい。年々、佐久市の良さを感じています😊

#佐久が好き

美笹深宇宙探査用地上局のパラボラアンテナが、かっこいい! スタードームで昼でも星が見える。かこの地蔵で月1回市をやっている。ブルーンフェスティバルで気球にのぼる! たのしいこといっぱい!

オータムキュートは普通のブルーンの2、3倍の大きさです! 甘くて、おいしくて、さらにびっくり!

#佐久が好き



埼玉に越して13年。新しい佐久は7年暮らしました。満天の星空、空気も、お水も、お米も、どれも美味しくて優しい。今は年に数回、家族を連れて実家に帰るのか戻るのか…。浅間山を眺めながら36年暮らした佐久。私の大切な故郷😊 ぜひ、お立ち寄りください。星空を眺めてほしいです♡

#佐久が好き



洋食屋さんとか、ケーキ屋さんが豊富にあるのがうれしい。高速道路も無料区間があり大変便利です。季節の野菜もおいしい。存心をとって、おいしい物かたくさんある。移住するな佐久市と、思っています。計画中です。🙏

令和6年10月1日

20周年記念事業紹介

～令和7年9月30日

記念イベントがもりだくさん!

新佐久市誕生20周年をお祝いして、様々な記念イベントが開催されています。

事業期間中、イベントはまだまだ続きます。お楽しみください!



大相撲佐久場所

2024年8月4日

信濃毎日新聞社等が主催した「大相撲佐久場所」を市としても支援し、新佐久市誕生20周年記念事業のプレイベントとして位置付け、記念事業を華々しくピーアールしました。

川村吾蔵生誕140周年企画展

2024年8月17日～8月25日

2024年10月12日～11月10日

生誕140周年を迎えた「佐久の先人」の一人、川村吾蔵の功績と新佐久市誕生20周年をピーアールするため、東京と佐久市の2か所を会場として企画展を開催しました。



佐久でかなえたいみんなの夢

2024年9月1日～2025年9月30日

未来を担う子供たちの夢や希望に関する作文や絵などを募集しました。夢の中から、事業者等の協力により、その実現を支援します。

抽選で素敵なプレゼント
あなたの見つけた
佐久の「いいね」
大募集キャンペーン!



佐久が好き
大募集キャンペーン
2024年10月1日～2025年1月31日
佐久市の魅力の再発見と発信に繋げるため、
市民等の皆さんから佐久市の「好き」「推し」
を募集しました。

ぞっこん! さく市 2024年10月5日・6日

市内企業等が提供する商品やサービスに触れる機会「ぞっこん! さく市」には、100を超える市内企業等が出展し、約55,000人が来場するなど、大盛況となりました。



第2回佐久平ハーフマラソン 2024年10月20日

「走っても楽しい、走った後も楽しい」をテーマにした佐久平ハーフマラソンは、佐久市出身で東京2020オリンピック日本代表の萩谷楓さんをゲストにお迎えして開催。約3,600人が秋晴れの佐久平を走り抜けました。





長野県民手帳カバーの配布

2024年10月中旬～

新佐久市誕生20周年をピーアールするとともに、佐久市の魅力を伝えるオリジナル手帳カバーを作成・配布しました。デザインは、公募作品79点の審査で選出された3作品の中から、市民等による投票で決定しました。



望月駒の里草競馬大会

2024年11月3日

「信州の菊花賞」ともいわれる草競馬大会は、「新佐久市誕生20周年記念賞」を創設し、勝ち馬当てクイズ、望月商工祭が同時開催され賑わいました。サラブレッドの力強い走りやポニーの愛らしい走りに寄せられた歓声が、秋の空に響き渡りました。



第16回佐久こころのミュージカル

2024年11月9日・10日

市民自らがミュージカルに参加し、舞台を上げる「佐久こころのミュージカル」。「佐久の先人」の一人「若月俊一」佐久総合病院名誉総長の半生を題材に上演し、2日間で3回の上演に約1,200人が訪れました。



佐久市人権・男女共生フェスティバル

2024年11月17日

1985年の大阪西成を舞台に、出自や偏見、家庭環境などに悩み・苦しむ生徒たちとともに歩んだ実在の教師を描いた映画「かば」の上映と講演を通して、人と人のつながり、たくましく「生きる」ヒントが伝えられました。





佐久市青少年健全育成市民集会

2024年11月24日

プロフィギュアスケーターで元オリンピック日本代表の鈴木明子氏を講師にお迎えして、「ひとつひとつ。少しずつ。」を演題に、夢や目標に向かって歩み続けることの大切さを伝えていただきました。

第22回コスモホール佐久第九演奏会

2024年12月8日

佐久の師走の風物詩となっている第九合唱。第九の誕生・初演から200年、新佐久市誕生20周年の節目となるアニバーサリーイヤーの演奏・合唱は、多くの合唱団員の参加、チケット完売など、大盛況となりました。



長野県 佐久市 20-217-D001

36°16'38.9"N
138°27'57.4"E

1088-1072-41-4

デザインの由来

設置開始 2019年 佐久鯉料理

久市第4弾のマンホールカードは、北斗四兄弟の次兄・トキ!!柔の拳を極め、医学の道を進んだトキの登場で、に四兄弟がカードとして集結!「北斗の拳」(漫画:武論尊・原哲夫)は、佐久市出身の漫画原作者武論尊氏の代表作。マンホールは北斗七星をかたどって佐久平駅歩道内に設置されており、このカードは令和7年4月新佐久市誕生20周年記念として制作しました。記念にも描かれている佐久鯉は、古くから貴重なたんぱく質として食されており、健康長寿の源と考えられています。マンホールの鑑賞とあわせて、佐久鯉料理を味わってみてはいかがでしょうか。

12-00-001
村田商店街(十三くら)

©武論尊・原哲夫/コアミックス 1983



佐久市マンホールカード 第4弾「トキ」の発行

2024年12月20日

人気漫画「北斗の拳」とコラボして市内に設置されたデザインマンホール。20周年を記念して、マンホールカード化第4弾として、北斗四兄弟の次兄・トキのカードが発行され、多くの方がこれを求めて来市しました。

佐久市の軌跡

〔佐久市20周年年表〕

2005 - 2024



新・佐久市10万都市誕生



新・佐久市誕生10周年記念式典

平成17年4月1日に佐久市が誕生してからの20年間から主な出来事をピックアップしました。市民の皆様をはじめ多くの皆様に支えられ、発展を遂げた佐久市の今までを振り返り、これからの発展につなげます。

2005 (平成17)年度

- 4月 - 佐久市、臼田町、浅科村、望月町の合併による、10万都市「新・佐久市」誕生
- 7月 - 新・佐久市市章決定
- 8月 - 子育てについて気軽に相談できる「つどいの広場」開設
- 「新・佐久市」10万都市誕生記念式典挙行
- 10月 - 第17回「星空の街・あおぞらの街」全国大会開催

2006 (平成18)年度

- 4月 - 臼田児童館・青沼児童館・あさしな児童館開館
- 6月 - 昆虫体験学習館開館
- 8月 - あさしな保育園開園

2007 (平成19)年度

- 4月 - 田口児童館開館
- 5月 - エストニア共和国サク市との友好都市協定調印
- 野沢中学校改築事業完了
- 森林セラピー佐久市癒しの森「平尾の森」・「春日の森」開場

2008 (平成20)年度

- 4月 - 望月児童館開館
- 佐久市特別養護老人ホーム シルバーランドきしの開所
- 望月小学校開校

- 佐久市複合型公共施設「サングリモ中込」開所
- 佐久市口腔歯科保健センター開設
- 佐久市休日救急歯科診療所開設

8月 - モンゴル国ウランバートル市スフバートル区との友好都市協定調印

1月 - 「信州大学と佐久市との連携に関する協定書」締結

2009 (平成21) 年度

- 4月** - 佐久クラインガルテン望月開園
- 切原児童館開館
 - 佐久市療育支援センター開所

3月 - 川村吾蔵記念館開館

2010 (平成22) 年度

4月 - 佐久市民憲章及びシンボル制定

7月 - 「佐久総合病院再構築に係る医療体制等協定書」締結

8月 - 佐久市総合運動公園マレットゴルフ場開場

11月 - 岩村田保育園開園

- 「総合文化会館の建設の賛否を問う住民投票」の実施

- 3月** - 東日本大震災発生（被災地支援のため市職員緊急派遣）
- 浅間中学校改築事業完了
 - 中部横断自動車道「佐久小諸JCT～佐久南IC」開通
 - 防災行政同報無線市内全局開局

2011 (平成23) 年度

12月 - 水資源保全共同声明発表

1月 - 「佐久地域定住自立圏の形成に関する協定」調印

3月 - 新作バルーン「佐久の鯉太郎」お披露目（現在運行終了）

2012 (平成24) 年度

4月 - 市民活動サポートセンター開設

12月 - ビートたけし氏デザインによる熱気球お披露目（現在運行終了）

- 3月** - 望月図書館移転・開館
- 泉小学校改築事業完了
 - 白田中学校改築事業完了

2013 (平成25) 年度

- 4月** - 乳幼児に対する福祉医療の支給対象者の拡大
- 佐久総合運動公園陸上競技場開場

10月 - 市民交流ひろば開園

11月 - 佐久市メガソーラー発電所開所

2月 - 大雪災害の発生（災害対策本部設置）

2014 (平成26) 年度

4月 - 佐久総合運動公園補助競技場開場

7月 - オールマイティ1年生事業開始

- 市内各図書館で読書通帳開始

8月 - 「佐久大学及び佐久大学信州短期大学部との連携に関する協定書」締結

3月 - 「佐久市民の日」（3月9日）制定

- 北陸新幹線金沢延伸開業

2015 (平成27) 年度

4月 - 「新・佐久市誕生10周年記念式典」挙行

- 佐久平浅間小学校開校

7月 - 佐久平浅間児童館開館

8月 - 市民創錬センター開館

3月 - 平根マイクロ水力発電所開所

timeline

2016 (平成28)年度

- 4月 - 佐久平斎場供用開始
 - プレママ医療給付事業開始
- 7月 - 佐久学校給食応援団発足
- 8月 - 「第1回キッズ・サーキット in SAKU」開催
- 10月 - 佐久市臼田健康活動サポートセンター「うすだ健康館」開館
- 12月 - 佐久市温水利用型健康運動施設「平尾温泉みはらしの湯」開館
- 1月 - 望月中学校改築事業完了
- 3月 - 国保浅間総合病院新中央棟開院

2017 (平成29)年度

- 4月 - 城山保育園、もちづき保育園開園
 - 新・中込会館開館
- 7月 - 道の駅「ヘルシーテラス佐久南」開場
 - 佐久市SAKUコスモス育英基金奨学金（給付型奨学金）創設のため武論尊氏から4億円の寄付目録贈呈
- 8月 - 文化財事務所考古遺物展示室開室
- 9月 - 新・浅間会館開館
- 3月 - sakumo 佐久市子ども未来館プラネタリウムリニューアルオープン
 - 臼田支所新庁舎開所

2018 (平成30)年度

- 4月 - 「武論尊100時間漫画塾」開塾
 - 中部横断自動車道「佐久南IC～八千穂高原IC」開通
- 6月 - 佐久市無料職業紹介所「さくさくワーク」開所

2019 (令和元)年度

- 4月 - 佐久総合運動公園野球場開場
- 5月 - エストニア共和国サク市との姉妹都市協定調印
 - 北斗の拳バルーンお披露目
- 9月 - 北斗の拳デザインマンホールお披露目・設置
- 10月 - 令和元年東日本台風災害発生（災害対策本部設置）
- 2月 - 新型コロナウイルス感染症対策本部設置

2020 (令和2)年度

- 4月 - ワークテラス佐久開館
- 7月 - 岩村田小学校改築事業完了
- 10月 - 「佐久市気候非常事態宣言」を表明
- 11月 - 佐久総合運動公園クロスカントリーコース開場
- 12月 - 佐久平クリーンセンター稼働開始
- 1月 - 移住オンラインサロン「リモート市役所」開設
- 3月 - 佐久総合運動公園全整備完了
 - 浅科支所複合施設開所

2021 (令和3)年度

- 4月 - 東京2020オリンピック聖火リレー
 - JAXA美笹深宇宙探査用地上局開局
- 5月 - 新型コロナワクチン接種（個別・集団）開始
- 6月 - 香坂山遺跡で出土した後期旧石器時代の石器が国内最古の「石刃石器群」と発表
- 7月 - エストニア共和国オリンピック選手団事前合宿受入

9月 - 佐久白田インター工業団地開設

11月 - 新・東会館開館

2022 (令和4) 年度

4月 - 佐久平女性大学開講

8月 - 佐久平浅間小学校増築事業完了

11月 - 新・野沢共同作業センター開所
- 佐久市SAKUコスモス育英基金奨学金（給付型奨学金）のため武論尊氏から2度目の4億円の寄付目録贈呈

2月 - 新・佐久市生涯学習センター（野沢会館）開館

2023 (令和5) 年度

4月 - 新・白田小学校開校
- 新・学校給食白田センター開設
- 佐久平南広場（佐久平サンスクエア）開園
- デマンドワゴン「さくっと」本格運行開始

5月 - 「佐久の鯉太郎2」バルーンのお披露目

9月 - 佐久平駅に北斗の拳「ジャギ」像寄贈・設置

10月 - 第1回佐久平ハーフマラソン開催
- 第2弾北斗の拳デザインマンホールお披露目・設置

3月 - 市内初ラウンドアバウト共用開始
- 北陸新幹線敦賀延伸開業

2024 (令和6) 年度

5月 - モンゴル国ウランバートル市スフバートル区との姉妹都市協定調印

10月 - 新佐久市誕生20周年記念事業開始

3月 - 新佐久市誕生20周年記念式典挙行



国保浅間総合病院新中央棟



「武論尊100時間漫画塾」開塾



北斗の拳バルーンお披露目



新・白田小学校竣工式

佐久が誇る文化

佐久の歴史・風土に根差した祭り・イベントは、「佐久らしさ」の形成、地域の団結や地域外の皆さんとの交流、佐久市の魅力の発信、地域の活性化に寄与しています。

**熱気球**

色とりどりの熱気球が舞い上がる「佐久バルーンフェスティバル」、熱気球に乗ったサンタクロースが舞い降りる「サンタフライト」、元日の朝のフライトなど、熱気球は佐久の風景から欠かせません。令和6年11月からは、観光フライト「フリーフライト」が始まり、熱気球が佐久の青空を彩ります。

**あとべ おど ねんぶつ
跡部の踊り念仏**

鎌倉時代に「一遍上人」が始めた「踊り念仏」の一つで、跡部踊り念仏保存会の手により受け継がれてきました。国の重要無形民俗文化財に指定されているほか、令和4年11月30日に「風流踊」のひとつとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

**ちくま
佐久千曲川大花火大会**

毎年8月15日に開催され、佐久の夏の風物詩となっている花火大会。一時は存続が危ぶまれましたが、令和6年から観光協会を主体に、市や商工会議所、中込及び野沢商店街組合、地域の皆様等で構成する組織が新たに大会運営を担い、地域行事を継承しています。

**まるごとつながるフェスタ佐久平**

令和5年から佐久平の魅力を発信するイベントとして誕生しました。新幹線の開通で発展を遂げてきた佐久平駅と周辺の商業施設を中心に、企業と自治体が共同で実施する新しいイベントが、佐久市の新しい伝統を繋ぎ始めました。

**こうさかやま
香坂山遺跡**

旧石器時代の遺跡である香坂山遺跡では、令和2年に国内最古とされる3万6,800年前の石刃石器群が、令和3年に石刃制作跡が発見されました。ユーラシア大陸と日本・佐久地域の繋がりを示す貴重な発見で、国史跡指定に向け調査を進めています。

**ぶろんせん
武論尊100時間漫画塾**

佐久市出身の漫画原作者 武論尊氏が塾長、現役漫画家や編集者が講師となって漫画や原作に必要な知識・技術を養う塾です。市との共催で始まった塾からプロデビューする塾生の輩出が続き、佐久に漫画という文化を芽生えさせています。

古くからの「宝」も、時とともに「新たな宝」として生まれ変わっています。

佐久の偉大な 先人たち

各分野で大きな功績を残した「佐久の先人」たちは、多様な価値観を生み出し、佐久の文化と伝統を紡いできました。20周年記念事業では、第4次となる「佐久の先人」を選定しています。

いちかわごころべえ 市川五郎兵衛 (1571~1665)

市川五郎兵衛は、江戸初期に私財を投じて原野だった地に「五郎兵衛用水」を引いて新田を開発しました。今では、ブランド米として名高い「五郎兵衛米」の農地となっています。「五郎兵衛用水」は、平成18年に「疎水百選」に選定されおり、平成30年には「世界かんがい施設遺産」にも登録されました。



▲浅科地区の水田を潤す五郎兵衛用水。



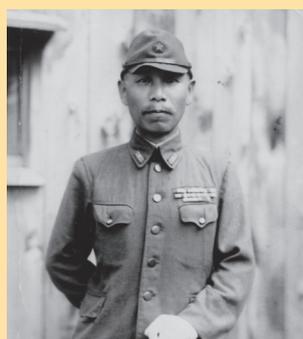
まるおかひでこ 丸岡秀子 (1903~1990)

丸岡秀子は、多くの著書や評論を通して平和や命の大切さを説き、農村女性の解放に生涯をささげました。農村女性たちに自立の精神を示し、希望を与えたその精神は、女性活躍推進を掲げる佐久市にも重要な示唆を与えています。

◀新日本婦人の会代表委員たちと。左から丸岡秀子、平塚らいてう、勝目テル、榎田ふき、小笠原貞子。1967（昭和42）年『ひとすじの道を生きる』（ドメス出版）より。



提供：新日本婦人の会



こいけゆうすけ 小池勇助 (1890~1945)

小池勇助は、激戦地となった沖縄で、自決を覚悟する女子学徒たちを必ず生き残よう諭し、多くの命を救った軍医です。市では、小池軍医が隊長を務めた野戦病院壕である沖縄県糸満市の「糸洲の壕（ウッカーガマ）」を、平和学習の場として修繕等を行いました。



わかつきとしかず 若月俊一 (1910~2006)

若月俊一は、「農民とともに」を合言葉に集団健診や健康管理などに取り組み、農村医学発展に尽くした佐久総合病院の元院長です。「予防は治療に勝る」という若月院長の実践的な哲学は、今も佐久の健康づくりと地域医療に影響を与えています。

佐久が 生み出す名産

晴天率の高さ、昼夜の寒暖差の大きさ、澄んだ空気と清冽な水…。豊かな大地が産み出す旨味と滋養に富んだ農水産物により、佐久の人の心と技が織りなす名産は、市内外で高い評価を受けています。



▲市内11蔵の個性が光る地酒。

酒蔵

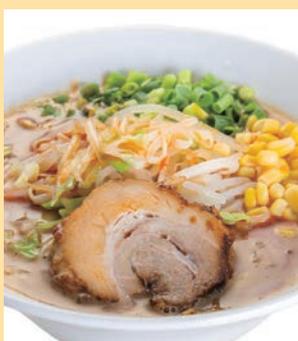
良質な酒米と清い水、佐久市の冷涼な気候の中で醸し出される美味しい佐久の酒は、市内の11蔵が切磋琢磨して紡いだ伝統と技が光ります。酒造りを行う“蔵人”になって酒造りの体験ができる「KURABITO STAY」などの取組も生まれています。



©KURABITO STAY

佐久鯉料理

清冽な水で育った佐久鯉は臭みがなく、身が引き締まった肉質が特徴で、市内外の皆さんに愛されています。令和6年度には、市内の高校生が佐久鯉を使ったコンフィのレシピで「ご当地！絶品うまいもん甲子園」関東甲信越エリア大会で優勝し、全国大会に臨みました。



あんようじ 安養寺ら〜めん

平成20年に誕生した安養寺ら〜めんは、市内の安養寺で作られていた「安養寺みそ」を使って作ったご当地ラーメン。各店の個性と工夫が唯一無二の味を生んでいます。佐久市誕生20周年を記念して、各店を巡るスタンプラリーも開催されました。



画像提供：JA全農長野

ぶどう三姉妹®

ぶどうの生産に不向きとされてきた佐久市ですが、気候の変化により、新たな産地化を目指す取組がスタートしました。「ぶどう三姉妹®」と称され、種なしで皮ごと食べる3品種「シャインマスカット」「ナガノパープル」「クイーンルージュ」の栽培が進められています。

古今 佐久市の名所

古くは中山道や佐久甲州街道、現在は北陸新幹線、上信越自動車道、中部横断自動車道などの交通網が整備された佐久は、交通の要衝・交流の拠点として発展、様々な名所が生まれてきました。



ヘルシーテラス佐久南

平成29年に開駅した「ヘルシーテラス佐久南」は、中部横断自動車道佐久南IC出入口に位置する、「健康長寿」をキーワードとした、地域内外の人やモノ・情報をつなぎあわせるゲートウェイ型道の駅です。国土交通省による「重点道の駅」にも選定され、災害時には防災拠点としての役割も担います。



sakumo 佐久市子ども未来館



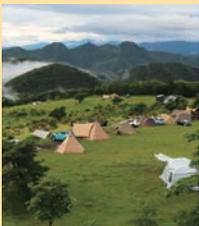
楽しく遊びながら創造的に学ぶ子どものための体感型ミュージアム「sakumo 佐久市子ども未来館」。平成30年にリニューアルしたプラネタリウムは、直径16mのドームと142席を誇ります。令和7年1月には、平成13年の開館からの来館者数が200万人を突破しました。

なかごみ おおさわ しが 旧中込学校・旧大沢小学校・旧志賀小学校



明治8年に建築された旧中込学校、明治26年に建築された旧大沢小学校、明治34年に建築された旧志賀小学校は共に地域の財産として市と地元の皆さんが協力して保存しています。近年では、ドラマや映画の撮影に使用されるなどして魅力が再認識されています。

あらふね 荒船パノラマキャンプフィールド



荒船山を望む標高1,200mの国立公園内に位置する「荒船パノラマキャンプフィールド」は雄大な景色に囲まれ、夜には満天の星空を楽しむことができるロケーションは、コロナ禍のキャンプブームが去ったあとも、引き続き多くのキャンパーたちの心を掴み続けています。

ほくと けん 北斗の拳デザインマンホール



令和元年、「北斗の拳」連載35周年を記念して佐久平駅蓼科口の歩道内に北斗七星をかたどった7つのデザインマンホールを設置しました。さらに、連載40周年と佐久市下水道事業50周年を迎えた令和5年度は、第2弾として、市内全域に北斗七星をかたどって設置しました。

©武論尊・原哲夫/コアミックス
1983

かすが 春日温泉

開湯300余年の歴史ある春日温泉。美肌効果が高いアルカリ性の温泉は、古くから湯治場として利用されてきました。市では、周辺的环境も合わせてポテンシャルの高い春日温泉を更に活性化するための基本構想をまとめ、施設の改修や周辺整備を進めています。



佐久総合運動公園

令和3年に完成した佐久総合運動公園は、陸上競技場・野球場・マレットゴルフ場などを備えた総合運動公園で、あらゆるスポーツニーズに対応できる運動公園です。各施設は、練習から大会まで様々な年代の皆さんに多目的に利用されています。





次の20年に向けて

佐久市は、これまでの20年を礎に、未来に向けて力強く踏み出します。これからの更なる飛躍に向けて、この20年間に種を蒔き、顔を出してきた芽を、大きく育てていきます。



女性活躍



DX



世界とつながる





女性活躍

女性も男性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会をつくりあげていくことが大切です。佐久市のこれまでの取組を更に加速し、「女性活躍」が当たり前の世界にキャッチアップします。

佐久平女性大学

佐久平女性大学は、男女共同参画社会の実現を図るため、条例で位置付けられた市民大学です。女性があらゆる分野で活躍できるよう、知識・技能の向上や、地域の仲間づくりを目指し、独自の教養講座と実践講座によるエンカレッジ教育に取り組んでいます。併せて、本大学で学び、生涯成長、生涯就業力を持った女性が職場や地域、市の審議会等に参加することで、女性意見の社会反映

を目指します。

Cosmosta +

Cosmosta + (コスモスタプラス) は、デジタルスキルの習得から就労までを一気通貫で支援する取組です。子育てや介護などにより就労に課題を抱える女性を主な対象として、今後成長が見込まれるデジタル分野において、経験の有無や経済状況に左右されることなく、キャリア形成にチャレンジし、自分に合った働き方が選択できるよう、OJT重視型またはオンライン型の講座で学びます。受講を通じて仲間意識の醸成や、地方のデジタル人材コミュニティの創出へと繋げ、地域のDXを推進する担い手の増加も目指します。



写真左：佐久平女性大学受講の様子／写真中央：Cosmosta+ 受講の様子／写真右：わたしたちの月3万円ビジネス イメージ



私たちの月3万円ビジネス

「就職」でも「起業」でも「副業」でもなく、もっと気軽に、自分が本当にやりたかったことで、月に3万円だけ稼ぐことを目指した取組です。座学やワークショップによりビジネスのノウハウを習得し、最終回は実際にイベントに出店するなど、実践的に学べるプログラム構成です。低いハードルから体験を重ね、将来の自立に向けたスタートアップとなる事業です。



担当者の声

佐久平女性大学学長
(佐久市人権同和課)

黒沢 梢さん



女性活躍社会の実現に、 佐久平女性大学も貢献したい

—— 女性活躍が可能となるためには？

女性の働き方として、職業の固定化やパートなど短時間労働のイメージがまだまだあります。これまでの固定観念に縛られない佐久市になることが、女性活躍のために必要だと思います。

—— 佐久市の女性に望むことは？

女性の中には、過去の経験から自分で未来を閉ざしてきた人もいます。まずは、佐久市の女性が恐れなくてチャレンジすることを望んでいます。

—— 女性大学が貢献できることは？

女性大学は、卒業生が活躍することが目的ではありません。一番重要なのは、「女性も活躍できる社会をつくること」です。学生たちは、自分らしさや社会課題に深く目を向ける1年を過ごした後、職場や市民の中に入り込み社会を変化させていきます。

大学は、そのために学生を精一杯支え、送り出してまいります。



佐久平女性大学卒業式



近年、急速な進展を遂げているデジタル技術は、様々な恩恵をもたらし、人々の暮らしにとって必要不可欠なものとなっています。すべての市民の皆さんがデジタル化の恩恵を享受できることを第一義に、デジタル技術の活用を通じて行政サービスや働き方を変革することにより諸課題に対応し、選ばれるまちとなることを目指します。

書かない窓口

住所異動や証明書発行の手続きについて、従来の紙面による申請書では、手続きやシステム入力の煩雑さ、窓口の混雑など、様々な弊害がありました。

そこで、タブレット端末から情報を入力する「書かない窓口」を導入し、分かりやすさや入力情報

の最小化などによりスムーズな申請を実現するとともに、待ち時間を最大5分削減することができました。

併せて、発券システムの導入を行うことでプライバシーへの配慮と待ち時間の可視化を実現しています。

佐久市LINE公式アカウント

家庭ごみの分別や収集日は、紙面による分別表や収集カレンダーを配布し周知していましたが、住民からの問合せが多く寄せられていました。

そこで、佐久市LINE公式アカウントを活用し、「家庭ごみ分別事典」や「収集日プッシュ通知」を導入し、知りたいときにいつでも情報取得することができるようになりました。



写真左：書かない窓口受付端末／写真右：佐久市LINE公式アカウント収集日プッシュ通知



その他にも、イベント予約やスマート受付、属性・希望に合わせた情報発信など、佐久市LINE公式アカウントで様々なサービスを実現しています。

リモート市役所

コロナ禍で移住希望者の佐久市への来訪が難しくなった背景から、実際に訪れなくても佐久市や移住のリアルな情報をやりとりできる、ビジネスチャットツール「Slack（スラック）」を活用したオンラインサロン「リモート市役所」を運用しています。

様々な立場の人とコミュニケーションが取れる移住の新しいプラットフォームとして、令和6年2月時点で約2,500名が参加するまでに成長し、佐久市への移住実績につながっています。



リモート市役所
ロゴマーク

担当者の声

佐久市情報政策課
主任

丸田 めぐみさん



DXで、市民の暮らしも、市役所の機能も変えます

——自治体にDXが必要なのは？

人口減少に伴う社会保障費の増加や自治体職員の減少などの中、限られた人材・財源で行政サービスを提供していく必要があります。デジタルの力を活用して業務効率化を図り、そこで生まれた時間やマンパワーをサービスの更なる向上につなげていきます。

——市民目線の自治体DXとは？

行政手続きの中には、手書きで書類を作り、平日に仕事を休んで役所へ行き、待ち時間がかかってようやく提出できるというものもあり、負担を感じる市民の皆さんも多いと思います。

例えば、対面の必要がない手続きを在宅でオンライン申請によりできるようになったり、タブレット端末での窓口により簡単に、そして待たずに手続きを行えたりなど、進歩するデジタル技術を活用することで、市民の皆さんが利便性を実感できる行政サービスの実現を目指します。



佐久市LINE公式アカウント



世界とつながる

市の持続的発展に向けこれまで行ってきた
高速交通網・情報ネットワークなどの社
会基盤整備は、物理的距離という制約を超え、社
会との時間距離・経済距離を大幅に縮めました。
もう世界はすぐ隣です。市内には、様々な世界と
のつながりが芽生え、実を結び始めています。

世界とつながる産業

社会基盤整備がもたらした世界とのつながり
は、特に産業面での貢献が顕著です。フランス・
パリに開業したアンテナショップには、これまで
経費や時間上の課題から流通に限界のあった市内
の様々な産品が並びます。また、交通利便性に加
え、災害リスクの低さや自然条件を利して、外国
資本による市内への企業立地も進んでいます。

世界とつながる教育

多様性のある教育の進展は、子どもたちの飛躍
の機会を劇的に高めています。小学生が外国を
身近に感じる機会を提供する「English Camp in
Saku」や、エストニア、モンゴルへの中学生海外
研修。新設の私立小学校では、英語やグローバル
化に重点化した教育を展開しています。また、IT
大国エストニアと市内高校生との多分野における
交流も芽吹き始めています。

世界がつながるインバウンド

コロナ禍による停滞から活況を見せるインバウン
ド。市内酒蔵に滞在しながらできる蔵人体験や、
地域の自然や暮らしを味わうことに特化した1棟



写真左：フランスパリ アンテナショップ「GOÉN」
オープン／写真中央：エ
ストニア共和国サク市子
ども交流／写真右：山村
テラス「木馬のワルツ」



貸し切りの宿には、多くの外国人旅行者が集まります。佐久地域出身のアニメ映画監督が映画文化の継承のため、所属する制作会社や地域と協力して映画館建設を進めており、世界中から人が集まる財産となりそうです。



©KURABITO STAY

担当者の声

佐久市商工振興課
主事

木次 涼介さん



地方都市であっても、 世界を見据える時代が来ています

—— 世界に発信できる佐久市の強みとは？

特に交通利便性の高さや災害リスクの低さは特長的です。これらは、働く場所の選択肢の増加、輸出入品の流通スピードの短縮や安定供給、人的保護も含めたリスクヘッジにつながります。実際に、市内に事業所を開設した外資系企業は、これらを佐久市の強みと受け止めて開設に至った経緯があります。

—— 佐久市から世界への進出は？

具体的な動きとして、昨年、市内に事務局がある事業体がフランス・パリにアンテナショップを開設しました。そこでは、地産品の出展や市のPRはもとより、市場調査や情報収集も重ねており、今後のビジネス展開につながるものと期待しています。

また、佐久市が誇る保健、医療、介護などの健康福祉分野でも、健康長寿を支えてきたサービスに係るノウハウや、それに伴う機器販売など周辺産業の海外輸出に取り組まれています。



佐久白田インター工業団地

SAKURAI
CITY
20th
ANNIVERSARY
2005 - 2024

花さく 夢さく 未来さく
新佐久市誕生20周年記念誌

発行日：令和7年3月9日

発行：新佐久市誕生20周年記念事業実行委員会

〒385-8501 長野県佐久市中込3056

TEL 0267-62-2111 (代) FAX 0267-63-1680

